

【学校教育目標】

合志中学校だより

自らが未来を描き、自分を最大限に高め、夢実現をめざす生徒の育成
「学びを深める力 協働する力 行動する力」の育成



第1号 令和3年4月19日（月） 文責 合志市立合志中学校 校長 境 敬一郎

令和3年度スタート

新型コロナウイルス感染状況が、拡大と収束を繰り返す中、令和3年度がスタートしました。コロナ禍の影響で、人数の制限、マスクの着用などの対策を行った

上での開催となりましたが、4月9日（金）に第75回入学式を挙行了しました。希望に満ちた236名の新入生を迎え、全学年がそろい、従来の活気が戻りました。

本校は、今年創立75年目をむかえます。「平成」から「令和」へと時代が移り変わってきた中で、校訓「自律・向学・誠実・創造」という創立当時の思いを受け継ぎながら、教育目標を「自らが未来を描き、自分を最大限に高め、夢実現をめざす生徒の育成」と掲げています。この目標達成のためには、まず教職員が「志を合わせ」、生徒一人ひとりに視点をあて、一人の生徒の百歩ではなく全ての生徒の一步ずつをめざし、個人力や可能性を3年間で最大限に高める教育活動を展開していきたいと考えています。そして、その結果、生徒一人一人のスクールプライド、つまり「合志中学校の生徒でよかった」とみんなが誇りに思える気持ちを高めていきたいと思っています。

今年度も温かいご支援をよろしくお願いいたします。



中学校の「教科担任制」を有効に活用する

小学校の時は、多くの教科を担当の先生が教えられ、一部の教科を専科の先生が教えられていたと思います。中学校では「教科担任制」となっており、教科ごとに教える先生が異なります。その理由、利点は

- 中学校になると教科の専門性が高くなる。
- 一つの教科を集中して教えるので、先生もより工夫して教えられる。
- 多くの先生が関わり、生徒たちの良さを見つけ、引き出せる。
- 生徒たちは、いろいろな先生と触れ合う機会が増える。

などがあげられます。

中学生になると、学習や進路、人間関係づくりなどで悩んだりすることがあります。そんな時は、担任だけでなく、教科担当の先生、部活動担当の先生など誰でもかまいません。この先生に話を聞いてもらいたい、この先生なら話を聞いてくれそうだという先生のところに行ってください。そのような先生を見つけれられるのも「教科担任制」の利点です。保護者の皆様も生徒の皆さんも学校の先生の力を活用してください。

☆☆☆お知らせ☆☆☆

今年度も学校生活の様子や行事予定等について、随時ホームページにアップしていきたいと思っております。是非、こちらの方もご覧ください。

HP アドレス : <https://jh.higo.ed.jp/koshi/>